中央の行政&業界ニュース

法改正

25年度に適合義務化
改正建築物省エネ法成立

建築物省エネ法改正案（説明義務を導入の省エネ大断面材を活用した建築物に対する省エネ性能の一層の向上と建築物の木造化や、防火改修を含む再エネ設備導入に支障となる高さ制限等の合理化）を行う。

また、大規模建築物の木造化を可能とするとともに、防火規制上、別棟扱いを認め、低層部分の5分年加速化対策」お木造化ができるようにする。さらに、二級建築士として安全安心を提供できる取り組みが必要とし、木造建築物の範囲拡大算で建築可能な3階建て木造建築物の範囲拡大（16m以内）も予定する。

他にも、省エネ基準等に係る適合性チェックの仕組みを整備するなど通知となっている。

街促協

街路予算確保へ一丸
松井広島市長が新会長に

全国街路事業促進協会（街促協）は、2年度の活動方針および新体制を決め、新会長に松井一実広島市長が就いた。また「激励」・頻発化する自然災害への対応とポストコロナにおける都市活力の創出・賑わいの形成の実現に向けて、街路整備が計画的かつ着実に現場へ10月のDXシリーズ3場で実施する。申込みの受付けは、日程調整現場見学会（建地）は、小中学生を対象とする建設現場見学会「けんせつ探検隊2022」を夏休みシリーズ14日から7月22日まで、対象とし、女性が主体となって活躍する現場以外でも実施することとし、名称も変更した。

夏休みシリーズは、7月22日の埼玉県三郷北部連絡道路関係予算は6月17日、後期分は7月5日から。

2015年度より女子決議を満場一致で採択した。

――頃、山中小中学生に女性が活躍する建設現場を見てもらおうと始めた「けんせつ小中学生向け現場見学会」は、ここ2年間はコロナ禍で中止。3年ぶりの開催に当たり今回は「子ども参加」を加えた。

2022年度見学会開催一覧（夏休みシリーズ）

7月22日（金）	埼玉県三郷北部連絡道路関係予算
7月25日（月）	東京都の首都高速道路羽田線・東品川桟橋
7月26日（火）	群馬県道路公社
7月27日（水）	群馬県道路公社
8月1日（月）	群馬県道路公社
8月2日（火）	群馬県道路公社
8月3日（水）	群馬県道路公社
8月4日（木）	群馬県道路公社
8月5日（金）	群馬県道路公社

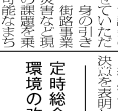
全国中小建設業協会（全中建、土志田信司会長）は10日、銀座東武ホテルで2022年度定時総会を開催した。冒頭あいさつで土志田会長は、中小建設業が地方自治体の公共事業に依存していることを説明した上で「中小建設業を取り巻く状況は厳しい。会員企業の現場改善を行い、安定経営が可能となるよう、協会活動に努力している」と報告した。

また、22年度はおおむね3ヶ月の賃金アップを目指して取り組むこと、会員各社に建設キャリアアップシステム（CCUS）導入の促進を図ることを宣言した。

総会では、22年度事業計画の審議が行われ、内容は◇公共事業予算の継続的な確保◇地域での受注機会の確保◇建設産業の魅力向上◇契約の適正化と推進◇積算適正化対策◇生産性向上とCCUSの対応◇働き方改革および打ち手確保と育成に関する施策◇建設業経営の安定化対策◇中小建設業者の税制対策等◇中小建設業者の組織強化対策◇環境対策◇災害対策――の11事項となる。

定時総会を開催
環境の改善図る

全中建


土志田会長

松井新会長は「40年以上の歴史を誇る協議会の会長を務めさせていただくことになり、身の引き締まる思いだ。街路事業は人口減少、災害など現い」と強調、全国街路事業促進協議会（街促協）の会長を務めさせていただく決意を表明した。

――頃、山中小中学生向け現場見学会「けんせつ探検隊」を開催。

日建連

「けんせつ探検隊」開催
小中学生向け現場見学会

日本建設業連合会（日建）は、小中学生を対象とする建設現場見学会「けんせつ探検隊2022」を夏休みシリーズ14日から7月22日まで、対象とし、女性が主体となって活躍する現場以外でも実施することとし、名称も変更した。

夏休みシリーズは、7月22日の埼玉県三郷北部連絡道路関係予算は6月17日、後期分は7月5日から。

2015年度より女子決議を満場一致で採択した。

――頃、山中小中学生向け現場見学会「けんせつ探検隊」を開催。

全国から集まった首長らが決議を採択した

街促協

街路予算確保へ一丸
松井広島市長が新会長に

全国街路事業促進協会（街促協）は、2年度の活動方針および新体制を決め、新会長に松井一実広島市長が就いた。また「激励」・頻発化する自然災害への対応とポストコロナにおける都市活力の創出・賑わいの形成の実現に向けて、街路整備が計画的かつ着実に現場へ10月のDXシリーズ3場で実施する。申込みの受付けは、日程調整現場見学会（建地）は、小中学生を対象とする建設現場見学会「けんせつ探検隊2022」を夏休みシリーズ14日から7月22日まで、対象とし、女性が主体となって活躍する現場以外でも実施することとし、名称も変更した。

夏休みシリーズは、7月22日の埼玉県三郷北部連絡道路関係予算は6月17日、後期分は7月5日から。

2015年度より女子決議を満場一致で採択した。

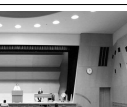
――頃、山中小中学生向け現場見学会「けんせつ探検隊」を開催。

見学会開催一覧（夏休みシリーズ）

DXシリーズは、デジタルトランスフォーメーションで進化した最先端を開催する。

県内情報

大村署長


関口分会長

防分会
災崎建

関口分会長が続投
22年度通常総会を開催

建設業労働災害防止協会群馬県支部高崎分会（関口功分会長）は9日、高崎市倉賀野福祉センターで2022年度通常総会を開催した。来賓には、厚生労働省高崎労働基準監督署の大村浩司署長が出席。22年度の事業計画案や収支予算案などのほか、関口分会長の再任や岩井理事の新任を求める役員改選案について賛成多数で可決した。

冒頭、関口分会長は「どんな小さな事故も起こさないよう分かりやすく、見やすくしたい。ワッペンは高崎市の位置を示すとともに、安全祈願への思いを込めて、安全で健康な職場づくりに貢献する」と語った。

新役員体制は次のとおり（敬称略）。

〈分会長＝関口功（群馬建設）〉

〈副分会長＝大野勝巳（大野組）、神宮寺一（神宮寺一業）、清水一希（研屋）、岩井真（岩井建設）、安藤力（川崎工務店）〉

〈会計＝四十山巡紀（四十山建）、中島浩史（中島組）〉

〈監事＝内茶作（佐藤工務店）、内田信也（群馬建設）〉

〈理事＝荒木一郎（荒木一郎組）、大澤一郎（大澤組）、大河原一（大和建設）、岡田浩信（信濃建設）、八木末明（高崎建設）、渡辺伸一（昭和建設）、廣瀬孝俊（廣瀬建設）、大澤一郎（大澤組）、大澤一郎（大澤組）、岡田浩信（信濃建設）、八木末明（高崎建設）、渡辺伸一（昭和建設）、廣瀬孝俊（廣瀬建設）〉

労働災害撲滅へ活動を推進

第1回合同勉強会開く
3次元データ活用へ
協和補償コンサルタント

平山代表取締役社長

職員20人を招いて「第1回合同勉強会」を開催した。ソーザースキャナーの活用について説明し、2022年度からの大規模構造物における測量・調査業務での活用、24年度からの原則適用に向けて知識を深めた。

――頃、平山代表取締役社長は「最新機器を用いて試行を行ってきた。実際に機械を動かさないと良い点、悪い点に気付く」と語った。

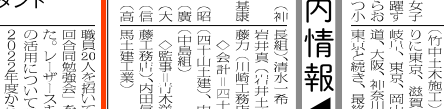
協和補償コンサルタント（高崎市、平山晋祥代表取締役社長）はこのほど、県高崎土木事務所の「先進事例など発表」

先進事例など発表
7月15日にシンポ
県都市計画課

県都市計画課まちづくりビジョン「ぐんま〝まちづくり〟シンポジウム」を7月15日に開催する。場所は群馬会館ホール。

シンポジウムでは前橋市出地区整備事業による事例発表や、県民大学大学院「学系研究科都市工学専攻」の村山顕人教授による講演が行われる。また、住民参加による「まちづくり効果表彰式」も開催する。

申し込み締め切りは7月7日。まちづくり業界関係ヘメールやFAXなどで問い合わせを行うことが、本日は、実際に、にぎわいに溢れた住み続けられるまちづくりに向けて、先進事例の発表と質疑応答を行う。


厳しい道路条件でも正確な縦断勾配が測れる

ことが、本日は、実際に、業務の委託にしていただければ」とあいさつ。

勉強会では、レーザースキャナーの実演を行う。

――頃、山中小中学生向け現場見学会「けんせつ探検隊」を開催。